

点滴療法研究会15周年 / 日本オーソモレキュラー医学会第4回総会 合同開催

国際栄養医学 シンポジウム 2022

NEW AGE MEDICINE
新時代栄養医療が作る健康な未来

2022年 9月18日(日) ~ 19日(月祝)

会場：都内大ホール(未定)

会 頭

柳澤 厚生

点滴療法研究会 会長



名誉会頭

矢澤 一良 先生

早稲田大学
ナノ・ライフ・創成研究機構
規範科学総合研究所
ヘルスフード科学部門 部門長

会 頭

井手口 直子

帝京平成大学 薬学部 教授



主催：点滴療法研究会・(一社)日本オーソモレキュラー医学会

会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

〔発行元〕点滴療法研究会 〔発行月〕2022.1

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカイビル4F / Tel: 03-6277-3318 / E-mail: info@iv-therapy.jp

NEW AGE MEDICINE



2022
01
vol.4

Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

ご挨拶

2021 年 年次活動報告

ボードメンバー紹介
2021 年 国内活動
2021 年 海外活動

点滴・栄養療法 症例報告

田中クリニック 院長 田中 善 先生
インペリオクリニック 理事長 新福 泰弘 先生
鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道 先生
BFLクリニック 増田 陽子 先生

柳澤 厚生 先生 医学情報
- マイヤーズカクテル -

点滴療法研究会からのご案内

トータルサポート
認定医制度
会員サービス

最新海外医学情報

2022 年セミナー年間予定

協賛企業のご紹介

CONTENTS

02／ご挨拶

04／点滴療法研究会 2021 年活動報告

ボードメンバー紹介
2021 年 国内活動
2021 年 海外活動

10／特集 点滴・栄養療法 症例報告

田中クリニック 理事長・院長 田中 善 先生
インペリオクリニック 理事長 新福 泰弘 先生
鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道 先生
BFL クリニック 増田 陽子 先生

19／柳澤 厚生 先生医学情報 - マイヤーズカクテル -

22／点滴療法研究会からのご案内

トータルサポート
認定医制度
会員サービス

26／最新海外医学情報

28／2022年実施セミナー一覧

30／協賛企業のご紹介

点滴療法研究会とは

点滴療法研究会マスターズクラブとは、最新のエビデンスに基づいた点滴療法を提供する医師・歯科医師・獣医師を会員とするグループです。会員は患者様が安全に治療を受けられるよう常に技術を磨いています。

最新知見の
収集

学びの提供

安全で効果的な
点滴療法を日本の医療の
スタンダードに

会員ネットワーク
構築

一般認知
拡大



The Japanese College of Intravenous Therapy

点滴療法研究会 2021年活動報告

ご挨拶



リベラル
メディスンの
時代に

会長
柳澤 厚生
Atsuo Yanagisawa MD, FJCIT
鎌倉元氣クリニック 名誉院長

点滴療法研究会マスターズクラブの会員数は900名を越え、日本の統合医療を牽引する大きな組織となりました。2021年も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大が、日本のみならず、世界中に大きな影響を及ぼし、皆様におかれましても対応に忙しい一年になられたこととお察しいたします。当会ではこのような現状を踏まえ、セミナーのオンライン開催や感染症対策をとった会場開催、そしてウェブサイトにて動画コンテンツなどの充実を図り、有益になるサービスを提供し、統合医療のトップランナーとして活躍していただけますよう、尽力して参る所存でございます。

また、本年度は当会15周年という記念すべき年となります。9月には周年行事といたしまして、国内外の先生をお招きし、皆様により有益な情報をご提供できるよう準備しております。これまで同様、リベラルな研究会として会員諸氏のご支援を賜りながら共に歩んで参りたいと思います。

今こそ
健康寿命・
予防医学の
発達を



事務局長
上符 正志
Masashi Uwabu MD
銀座上符メディカルクリニック 院長

新年あけましておめでとうございます。例年なら、言葉初めに述べますが、今年はそうもいかない雰囲気です。昨年も引き続き、コロナウイルスによる影響が大変な状況でした。人に会い、旅を楽しみ、新たに学び、充実していたはずの大切な日常と自由が戻ることもありませんでした。

自由な生活は、健康の上に成り立ちます。2022年はさらに自己の健康意識、行動を再考し、また迫りくるかもしれない疫病、病魔に闘う免疫機能賦活、細胞栄養療法、など健康体を守る自己防衛強化が引き続き不可欠となります。

点滴療法研究会がすべきことは予防医学分野において更なる情報を配信し、このいまだかつてないウイルスとの戦いにわれわれ予防医学の専門集団からの援護射撃であります。点滴療法研究会の先生方と一丸となり、この未曾有の状況に立ち向かいたいと思います。

本年もよろしくお願い申し上げます。

BOARD MEMBER

国内



事務局長

上符 正志
銀座上符メディカル
クリニック 院長



阿部 博幸
東京キャンサークリニック
理事長



森 吉臣
東京予防クリニック
院長



水上 治
健康増進クリニック
院長



芝田 乃丞
株式会社スピック
前会長



澤登 雅一
三番町さきけん
クリニック 院長



古山 登隆
自由が丘クリニック
理事長



高島 正広
高島クリニック
院長



平良 茂
ハートフルクリニック
院長



日比野 佐和子
Y'sサイエンスクリニック
広尾 統括院長



菅野 渉平
IVC分析センター
指導監督医



新福 泰弘
インベリオクリニック
理事長



松山 淳
松山医院 本町
院長



田中 善
田中クリニック
理事長・院長



喜多村 邦弘
喜多村クリニック
院長



廣田 順子
アリスどうぶつクリニック・どうぶつ
統合医療センター 院長



森永 宏喜
森永歯科医院
院長



松村 浩道
鎌倉元氣クリニック
院長

海外



イリエス・バグリ
(アルジェリア)
アルジェリアオーソモレキュラー
医学会会長



パートン・パークソン
(アメリカ)
ニューメキシコ統合医療
センター所長



アイリーン・バーフォード=メイソン
(カナダ)
元トント総合病院コンナッハ
頭頸がん研究所部長



スティーブン・カーター
(カナダ)
国際オーソモレキュラー
医学会事務局長



ダミアン・ダウニング
(イギリス)
英国環境生物医学会
会長



ジェームズ・グリーンブラット
(アメリカ)
ウォルデン行動医療病院
摂食障害部門部長



ロナルド・ハニハイキ
(アメリカ)
リオルダン・クリニック
所長



スティーブ・ヒッキー
(イギリス)
オーソモレキュラー
医学会編集委員



ジョン・ホッファー
(カナダ)
マギル大学
内科教授



トーマス・レヴィ
(アメリカ)
リオルダンクリニック・
コンサルタント



劉 輝雄
(台湾)
インベリオクリニック
院長



ロベルト・オルティス
(メキシコ)
メキシコオーソモレキュラー
医学会会長



ニール・リオルダン
(アメリカ)
ステムセル研究所
所長



アンドリュー・W・ソウル
(アメリカ)
オーソモレキュラー医学
ニュース編集長



ガート・E・シュートメーカー
(オランダ)
前・国際オーソモレキュラー
医学会会長
医学雑誌ORThO 編集長



フランク・シャレンバーガー
(アメリカ)
米国オーソモレキュラー
学会会長



ウェルマン・シュレーダー
(アメリカ)
サンタフェアレギー
環境医療センター所長



ブラッドフォード・ウィークス
(アメリカ)
ウィークス・クリニック 院長

2021年 国内活動

2021

1月

24日 東京 ベーシックセミナーⅠ

2月

21日 WEB 【会員限定】キレーション療法認定医講習会
【会員限定】キレーション療法認定医試験

3月

28日 神奈川 点滴療法の基本実技講習会（入門編）
「もうはずさない！血管確保の実際」

4月

10日 東京 ベーシックセミナーⅠ
11日 WEB ベーシックセミナーⅡ

5月

16日 WEB 【会員限定】オゾン療法認定医講習会
【会員限定】オゾン療法認定医試験
23日 WEB 歯科医師のための点滴療法（ベーシック）

6月

6日 東京 特別ワークショップ
注目の先端医療～点滴療法研究会ボードメンバーから学ぶ～
13日 WEB どうぶつへの点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ

7月

11日 東京 WEB スペシャル ベーシックセミナーⅠ

8月

29日 神奈川 点滴療法の基本実技講習会（入門編）
「もうはずさない！血管確保の実際」

9月

26日 WEB 特別セミナー「点滴療法クリニック成功の極意」

10月

31日 東京 歯科医師のための点滴療法（ベーシック）

11月

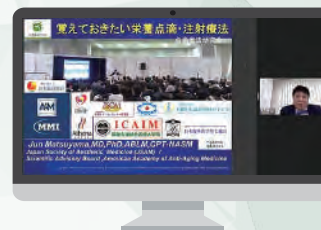
13日 東京 ベーシックセミナーⅠ
14日 WEB ベーシックセミナーⅡ
28日 東京 特別セミナー トーマス・レヴィ医師特別講演
～日米から学ぶ統合医療最前線～

12月

5日 東京 【会員限定】高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会
【会員限定】高濃度ビタミンC点滴療法認定医試験
12日 WEB どうぶつへの点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ
19日 神奈川 点滴療法の基本実技講習会（入門編）
「もうはずさない！血管確保の実際」



▲基調講演つき
スペシャルベーシックセミナーⅠ



▲WEB セミナー配信の様子



▲実技講習会の様子
毎回抗原検査を実施



▲高濃度ビタミンC点滴療法
認定医講習会・試験

国内活動報告

Annual Report 2021

今年度は、コロナウイルスの影響により、一部セミナーの開催中止・WEBセミナーへの変更を余儀なくされました。感染症対策を徹底したセミナー会場での開催も含め、年間19回のセミナーを実施いたしました。

WEB・実地開催

▶ 6月 特別ワークショップ

「注目の先端医療～点滴療法研究会ボードメンバーから学ぶ～」特別ワークショップを開催。

アンチエイジング医療、感染症対策、口腔細菌と腸内フローラ、最新のがん治療(光免疫療法)、IVCの抗癌メカニズムについて、当会のボードメンバーの先生方にご講演いただきました。

情報交換会では、盛んに意見が交わされ、久しぶりに会員間で直接のコミュニケーションが取れた貴重な会となりました。



▲セミナー会場の様子

▲講師：左から森永先生・田中先生・水上先生・松村先生・柳澤会長

WEB 開催

▶ 9月 特別セミナー「点滴実践クリニック -成功の極意-」

「新患・リピーターを増やしたい」「スタッフへの説明の仕方が難しい」という会員様からのご要望にお応えした点滴療法実践クリニック必見の特別セミナーを開催。新規顧客を増やすためのWEBの活用方法、販促、来院患者のリピーター率を上げる方法、院内体制作りのノウハウが具体的・実践的に学べる価値ある内容となりました。



WEB・実地開催

▶ 7月 スペシャルベーシックセミナー I

通常のベーシックセミナー I の内容に加え、基調講演に大阪大学大学院教授の森下竜一先生を特別講師にお迎えし、「新型コロナウイルスによる免疫老化予防とワクチン開発の現状」についてご講演いただきました。

感染症対策も交えた3大点滴療法のアップデートや点滴手技動画、ランチョンセミナーなど盛り沢山の内容で開催しました。会場とWEB参加を合わせて120名以上の先生方にご参加いただきました。



<特別講師>
大阪大学大学院教授
森下竜一先生



WEB・実地開催

▶ 11月 特別セミナー「日米から学ぶ統合医療最前線」

統合医療を学ぶ先生には必見の特別セミナーを開催。当会ボードメンバーのトーマス・レヴィ先生を特別講師にお迎えし、「慢性疾患と感染症の予防/治療の鍵マグネシウムの使い方」についてご講演いただきました。

また、当会ボードメンバーの森永歯科医院院長 森永宏喜先生には、口腔内環境が関与する、腸内環境や全身の健康、腸脳相関について、そして当会会長柳澤厚生先生には、新型コロナウイルス感染と後遺症についてご講演いただきました。



<特別講師>
リオルダンクリニックコンサルタント
心臓専門医・弁護士
トーマス・レヴィ先生

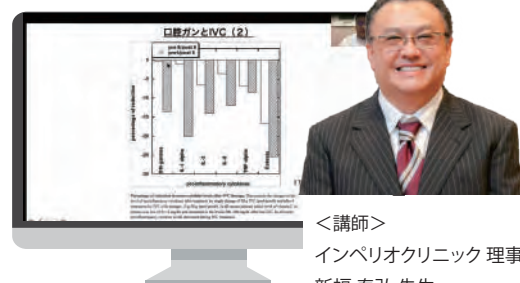


実地開催

▶ 5月・10月 歯科医師のための点滴療法(ベーシック)

年2回開催

近年、歯科医師の先生方からの需要が増えている点滴療法。毎回好評の歯科医師に向けたベーシックセミナーを2回開催しました。国内外の学会に数多く参加し実績を積まれている、当会ボードメンバーのインペリオクリニック理事長 新福泰弘先生と柳澤厚生会長による、歯科クリニックにおける高濃度ビタミンC、マイヤーズカクテル、グルタチオン点滴、オゾン療法の基礎から応用まで、症例を交えながらご講演いただきました。



<講師>
インペリオクリニック 理事長
新福 泰弘 先生

▶ 12月 高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会・試験

真摯に点滴療法を学び、正しい方法で治療を提供できる会員医師を明確にし、患者様に質の保証をする認定医制度。感染症への効果が期待されニーズが高まったこともあり、昨年を上回る多くの先生が受験されました。

合格者には認定証を発行、ホームページのクリニック検索にて情報公開しています。



▲認定医証



▲セミナー会場の様子

国内活動報告

実地開催

▶ 3月・8月・10月 基本実技講習会(入門編)

鎌倉のクリニックにて、人気の「基本実技講習会(入門編)」を年3回開催いたしました。通常の座学のセミナーとは異なり、8名限定での開催です。

実際に先生同士で血管確保の練習から点滴製剤の作り方、穿刺までポイントとコツも学べる高濃度ビタミンC講習会です。これから点滴療法を導入される先生はもちろんのこと、既に点滴療法を実践されている先生にもとても人気の講習会です。



▲ 講習会の様子

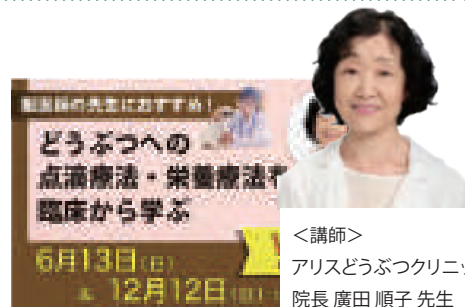
▲ 毎回抗原検査を実施

WEB 開催

▶ 6月・12月 どうぶつへの点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ

どうぶつへの高濃度ビタミンC、マイヤーズカクテル点滴療法、CBDオイルの基礎と使い方、様々な病気の予防や治療に活用できるオーソモレキュラー療法を詳しく学べるセミナーは、獣医師の先生のみならず、どうぶつを家族にもつ、医師・歯科医師の先生にも人気です。

講師は臨床現場で点滴療法・栄養療法を幅広く実践されている、当会ボードメンバーのアリスどうぶつクリニック院長の廣田順子先生です。



<講師>

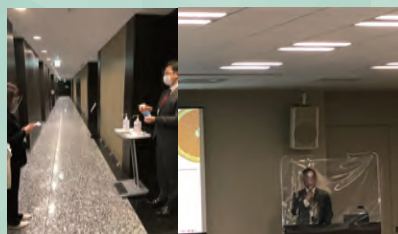
アリスどうぶつクリニック
院長 廣田 順子 先生

セミナー開催時の感染症対策

点滴療法研究会では、会場での徹底した感染症対策を実施の上、セミナーを開催いたしました。



- ソーシャル ディスタンスを保った間隔でのレイアウト
- 会場内の窓や扉の開放
- こまめな消毒



- セミナー前の検温・消毒・飛沫防止対策
- 予備マスクをご用意
- マスクケースや除菌ジェルなど感染予防セットを配布(一部セミナー)



- 参加者・全スタッフの抗原検査を実施(一部セミナー)

2021年 海外活動

多くの海外の学会が中止またはWEB開催となる中、点滴療法研究会は、新型コロナウイルス感染症対策などについて、様々な情報発信・情報収集を行いました。

1月

カナダ・トロント
WEB

Dr. ジェニファー・ハイバードの "Hibberd Health" (Youtube) にて「新型コロナの栄養療法」の情報配信

2月

出版

機能性医学の創始者ジェフリー・ブランド博士の著書「慢性疾患の予防と治療～機能性医学入門」の翻訳を発表

5月

カナダ・トロント
WEB

第50回国際オーソモレキュラー医学会総会にて柳澤会長が国際オーソモレキュラー医学会の会長として冒頭挨拶と学会の開会宣言



7月

台湾・台北
WEB

柳澤会長が国際シンポジウム「国際科学シンポジウム台湾協会のプロセラピーと再生医療」にて「エビデンスのある栄養療法による新型コロナウイルス感染の予防と治療」についてご講演



9月

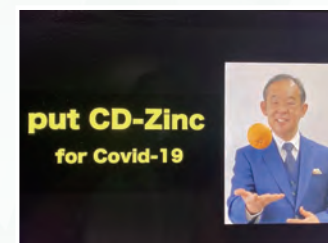
イギリス
WEB

柳澤会長が World Health Council 世界代表者会議「新型コロナウイルス感染ならびに後遺症治療、コロナワクチン接種副反応」に関する世界会議への出席

11月

ドイツ・フランクフルト
WEB

柳澤会長がダビンチ (DAVINCI) 国際会議にて「栄養・点滴療法による新型コロナの感染予防と治療」についてご講演



点滴・栄養療法 症例報告

2021年から2年間、点滴療法研究会のセミナーの多くが新型コロナウイルス感染の拡大によって会場での開催ができませんでした。そのために会員同士のコミュニケーションがどうしても希薄になり、新たな医学情報をリアルで学ぶ場が少なくなったという声が私のもとにも届いています。そこで、2021年より会報誌NEW AGE MEDICINEを創刊し、医師、歯科医師、獣医師の皆様に症例報告や文献紹介など様々な形で医学情報をお届けすることにしました。

今回の会報誌NEW AGE MEDICINE - vol.4では研究会ボードメンバーやセミナー講師をされている4名の先生から症例報告をいただいています。田中善先生（田中クリニック）には高濃度ビタミンC点滴による悪性黒色腫と盲腸がんの治療例、新福泰弘先生（インペリオクリニック）機能生物学的歯科医学を取り入れた症例、松村浩道先生（鎌倉元氣クリニック）は自家血オゾン療法により改善した難治性眩暈症の症例、増田陽子先生（BFLクリニック）は高濃度ビタミンC点滴とイベルメクチンで改善した中等症COVID-19肺炎の症例です。

2022年、点滴療法研究会は15周年を迎えます。私たちは新型コロナウイルス感染の鎮静化を予想し、ポストコロナの時代に相応しい一段上の大きなステージに上ります。スローガンは「リベラルメディスン Liberal edicine」です。新しく進化する点滴療法研究会のセミナーで皆様とお会いすることを楽しみにしています。



点滴療法研究会 会長
柳澤 厚生



目次

P.11 ▶ IVCと他療法の併用により奏効した2症例
医療法人仁善会 田中クリニック 理事長・院長
田中 善 先生

P.12 ▶ Occlusal DysfunctionおよびParafuctionによる咬合崩壊ケースに対するBDM®コンセプトによるSDSジルコニアインプラントを用いたFull Mouth Reconstruction
医療法人インペリオクリニック 理事長
新福 泰弘 先生

P.14 ▶ 大量自家血液オゾン療法により症状の改善がみられた難治性眩暈症の1例
鎌倉元氣クリニック 院長
松村 浩道 先生

P.16 ▶ COVID19肺炎（中等症2）に対しイベルメクチンとメチルプレドニゾロンが著効した一例
BFLクリニック
増田 陽子 先生

IVCと他療法の 併用により 奏効した2症例



医療法人仁善会 田中クリニック
理事長・院長

田中 善 先生

【略歴】
鳥取大学医学部医学科卒業。医学博士（大阪大学）。大阪大学第一内科（腎臓内科）、大阪厚生年金病院腎臓内科医長を経て、医療法人仁善会田中クリニック理事長・院長に就任（<http://www.tanaka-cl.com>）。がんに対する免疫療法、栄養療法、点滴療法など統合医療を中心に診療を行っている。また医科歯科連携と栄養学を中心とする予防医学を推進する活動を行っている。

日本内科学会認定内科医、日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医。腸内フローラ移植臨床研究会代表理事、日本先制臨床医学会理事、日本老化制御医学会常任理事、IAOMT-Asia (International Academy of Oral Medicine and Toxicology) 副代表。

症例1 I.O. 51歳 女性

【診断】malignant melanoma（悪性黒色腫）

【経過】2001年左側腹部のmelanoma切除。2006年左肩径リンパ節郭清。2015年5月右肩径リンパ節郭清。6月～8月放射線療法施行。ペグイントロン治療施行。12月腹部腫瘍（melanoma）摘出術施行。

2015年11月27日から高濃度ビタミンC点滴療法（IVC）開始（2015年12月5日VC50g血中濃度：3520.9 μ g/ml、2016年1月5日VC60g血中濃度：5320.4 μ g/ml）。約3か月間は週2回、その後約2年間は週1回、その後月2回約1年前から月1回施行中。2016年6月から水素点滴併用。VD3（Pure）：5,000IU/日、コンプリートバイオテック（乳酸菌製剤）1C/日、マルチビタミン・ミネラル、ビタミンC服用中。重炭酸入浴剤 Hot Tab使用中。現在、PET-CTなど画像上も再発・転移なく、仕事（医療関係）を続けている。

【評価】原発巣を手術後もたびたび再発をしていたが、高濃度ビタミンC点滴療法を施行することにより、それ以後再発・転移もなく、仕事を普通に続けられている。QOLも向上し仕事を普通に続けられている。

症例2 C.R. 52歳 男性

【診断】盲腸癌

【経過】2020年11月ごろから腹満感、嘔気、嘔吐があり、精査したところ回盲部腫瘍、イレウスと診断。12月に腹腔鏡下結腸右半切除術施行。盲腸癌（Moderately differentiated tubular adenocarcinoma）、リンパ節転移（回腸末端部流域のリンパ節腫大、傍大動脈に多数の結節）と診断。

2021年2月1日から高濃度ビタミンC点滴療法（IVC）開始（11月27日現在VC60gを1～2週に1回）。同時にヨガ、鍼灸、転地療養、薬膳料理、水素吸入、食事療法などを併用して行っている。抗癌剤は職場復帰（教師）に影響があるので拒否した。

腫瘍マーカーの推移(下の欄は CA19-9の数値)

2020 12.09	2021 01.12	2021 04.07	2021 06.14	2021 07.19	2021 08.16	2021 10.11
3762.0	11357.8	2910.0	1258.2	574.7	573.7	411.3

【評価】手術後に抗癌剤をせずに、高濃度ビタミンC点滴療法を主な治療として受け入れた。仕事に復帰するために、意欲的に正常細胞の活性化を行う治療法を取り入れ、それが奏効して仕事への復帰も可能になってきている。おそらく抗癌剤を使用していれば早期の社会復帰は困難であろう。高濃度ビタミンC点滴療法が抗癌剤としての作用とともにQOLを向上させる治療法として有用であることが示唆される。

点滴・栄養療法 症例報告

Occlusal Dysfunctionおよび Parafunctionによる咬合崩壊ケースに 対するBDM®コンセプトによる SDSジルコニアインプラントを用いた Full Mouth Reconstruction



医療法人インペリオクリニック 理事長

新福 泰弘 先生

【略歴】

スイスの「SDSジルコニアインプラント専門医」を取得し日本人唯一の指導医として活躍中。
またシアトルKOISセンターの「KOIS MENTOR 資格」や「Smilefy Digital Smile Designer資格」を取得し最新のデジタルテクノロジーを用いた「機能性と審美性」を追求する咬合診断法および補綴治療法を全国の先生方へコーチング。次世代の「全身の健康を追求する歯科治療コンセプト」をBDM®(BioFunction Dental Medicine) 診断治療プログラムとして開発、実践、全国の先生方に提供。その他、アメリカ抗加齢医学会(A4M)専門医(ABAAHP)、WFOT(国際オゾン療法学会)日本代表、Humaresオゾン療法スーパーバイザー、Journal of ozone therapy reviewer、DNA SNP 遺伝子栄養療法指導医、PHOTON WAVE スーパーバイザー、歯科における点滴療法の第一人者、特に血液オゾン療法はこれまでに4万回以上の実績。海外講演多数。

Biofunction Dental Medicine®(機能生物学的歯科医学)すなわちBDM®コンセプトに基づく治療を導入するクリニックが全国に増えています。それは、全身の健康を含めた歯科治療を目指す歯科医師が増えていることを意味します。

今回ご紹介する当院のケースも糖尿病などの基礎疾患がある患者でしたが、BDM®プロトコルに準じて、Preconditioning、抜歯即時SDSジルコニアインプラント埋入+TEK仮着、Postconditioningと順調に治療を進めていきました。しかし、術後2ヶ月目にPMMA TEKが脱離しました。幸いSDSジルコニアインプラント自体や周囲組織の問題は全くありませんでした。

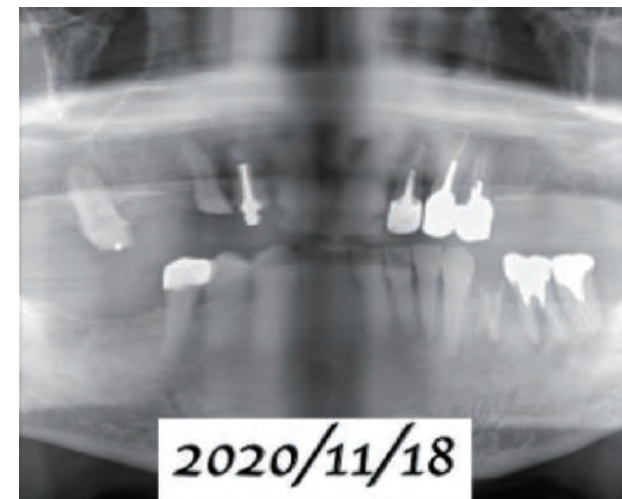
患者は治療前に睡眠時無呼吸を伴うDysfunctionが認められ顎関節がCRから逸脱していましたので、DeprogrammerによるCR獲得とその顎位での臼歯および前歯の咬合機能をTEKにて正常化させていました。ですが、Parafunction対策としてナイトガードを毎晩装着するよう指導していたにも拘らず、患者がそれを守らなかったことがTEK脱離の原因と考えられました。

このようにコンプライアンスを遵守できない患者が少なからず存在するのが歯科臨床の現実です。

したがって、治療に入る前には、患者側のコンプライアンス違反が原因で発生しうるトラブルに対する責任の所在を明確にしておく必要があります。性善説だけでは良い治療結果は保証されません。

さて、ナイトガード以外のParafunction対策としてはBotox注射がありますが、生物学的歯科医学では毒素を注射する行為は受け入れられません。

そこで、Parafunctionとの関連性が報告されている脳内神経伝達物質へのアプローチを検証しました。



BDM® Conceptによる治療前と治療後

数ある脳内神経伝達物質の中でも、神経細胞興奮作用を持つグルタミン酸とそれがGAD(グルタミン酸脱炭酸酵素)で代謝されて作られる神経細胞保護作用を持つGABAへのカスケードは、筋肉の異常収縮との関連が報告されています。

特にGAD1(rs3828275)にDNA SNPが存在する患者では、グルタミン酸がGABAへ代謝されないため、脳内グルタミン酸濃度が上昇し、GABA濃度が低下することになります。

まさに、この患者はDNA SNP検査の結果、GAD1のホモ型遺伝子変異を呈していましたので、GAD1の機能が低下し、結果的にGABAの低下が生じ、そしてParafunctionが生じていると推察した訳です。

そこで、低下したGAD1機能を代償させる目的でDr.Kendal Stewartの開発したGAD ENHANCERを投与してみました。これは、アメリカGMP認証を取り、安全で広く使われているMedicalサプリメントです。

毎朝朝食後に2Tab服用してもらい、経過を見ていったところ、Parafunctionがほとんどなくなったことを、同じく通

院している患者の奥さんから聞くことができました。

実際に、その後はTEKの脱離は発生せず、写真のように機能性と生物学的要件そして審美性を満たすジルコニアによる最終的な治療結果に至ることができました。

以上より、Parafunctionの患者に対し、GADのDNA SNP検査を行い、結果に基づいてGAD ENHANCERを投与するアプローチが期待できますので推奨します。



テキサス州オースチンのGxScience本社にてDr. Stewartとのスナップ (2017年5月)

大量自家血液オゾン療法により 症状の改善がみられた 難治性眩暈症の1例

点滴・栄養療法 症例報告

【はじめに】

眩暈症は臨床の現場でも比較的多くみられるが、一般的に眩暈症は末梢前庭性が多く、全眩暈の約 60%を占めるといわれる。今回、大量自家血液オゾン療法 (Major Autohemotherapy : MAH) により症状の改善がみられた難治性末梢前庭性眩暈を経験したので報告する。

症例 70歳 女性

主訴：

回転性眩暈、歩行時の浮動性眩暈

既往歴：

糖尿病、白血球減少症、陳旧性脳梗塞

家族歴：

父 高血圧症、脳卒中

現病歴：

2019 年 2 月 2 日、眩暈と嘔気があり近医脳神経外科受診。入院精査したところ、良性発作性頭位眩暈症及びメニエール病の疑いにてジフェニドール塩酸塩およびアデノシン三リン酸二ナトリウム水和物顆粒が開始となったが、退院後 2 週間以上経過しても症状が変わらないため、同年 2 月 25 日当院受診となった。

経過：

G6PD 検査で問題がないことを確認し、血液 100ml に対して 20 μ g/ml のオゾン酸素混合ガス 100ml を用いる MAH を週に 1 回実施したところ、同年 3 月には歩行時のふらつきがほぼ消失したが、臥位での回転性眩暈は残存した。同年 4 月には回転性眩暈も改善傾向を示したため、治療頻度を 2 週間に 1 回に減らし MAH を継続した。その後、オゾン総量を 2500 μ g まで漸増し、月に 1 回の継続実施としたところ、同年 8 月には眩暈は完全に消失したが、患者が再発予防・健康増進目的での治療継続を希望したため、現在も月に 1 回の MAH を継続している。



鎌倉元氣クリニック 院長

松村 浩道 先生

【略歴】

平成5年、日本医科大学卒業。同大学付属病院麻酔科学教室。関東通信病院（現NTT東日本関東病院）ペインクリニック科、医療法人誠之会 氏家病院ペインクリニック科・精神科、医療法人社団藍風会江の島弁天クリニックを経て、平成29年10月、スピッククリニック（現 鎌倉元氣クリニック）院長。

著書に「対人関係のイライラは医学的に9割解消できる」（マイナビ出版）「脳腸相関で未病を征す」（七星出版）がある。

考察：

眩暈症の中で最も多いのは良性発作性頭位眩暈症 (benign paroxysmal positional vertigo, BPPV) で、同症では内耳の耳石が剥がれ落ち、それが三半規管を刺激して眩暈が起こるとされる。通常、眩暈の持続時間は 1 分以内であり、特に治療をしなくても数日から 2 週間程度で軽快することが多いが、中には本症例のように難治性で 1 ヶ月以上症状が続く場合もある。一方、メニエール病は内耳の内リンパ水腫によって症状がおけるとされるが、眩暈を悪化させる因子として、ストレスや睡眠不足、過労が考えられている。こうした因子により内耳の水腫が増悪し耳石が剥がれやすくなることで、BPPV を併発することもある。本症例は、発作持続時間が比較的長いなどの臨床症状から、前医での診断通り、BPPV にメニエール病を併発していた可能性があるが、前医での薬物療法は無効であった。オゾン療法について、Menéndez らは、末梢性前庭症状を呈する患者 50 人を対象にオゾンガス局注（濃度 20mg/L、5ml のオゾンガスを、頸椎 C2-C3 領域に対応する傍脊椎筋に局注）を実施し、眩暈・難聴・耳鳴り・眼振が、それぞれ 90%・80%・65%・100%改善したことを報告した 1)。ほかにも、オゾン療法が末梢前庭性眩暈やメニエール病に対して有効だったとする報告はいくつか散見されるが、MAH による治療報告はない。メニエー

ル病では、抗酸化力が低下しているほか、酸化ストレスが内リンパ水腫の発症に関与していること、細胞の損傷やアポトーシスによる細胞死が聴覚障害の一因であることが示唆されているが 2)、MAH には、2,3-DPG 増加による組織への酸素供給の改善、細胞内抗酸化防御システムの増強、免疫系の活性化、NO 調節による血管拡張などの作用があることがわかっており、本症例においてはこれらの機序により症状が改善した可能性がある。

まとめ：

MAH により症状の改善がみられた難治性眩暈症を報告した。適正な方法で実施する限りにおいて安全な治療法である MAH は、末梢前庭性眩暈の治療として検討する価値があると考ええる。

- 1) Menéndez S, et al. Application of ozone therapy in the vestibulocochlear syndrome. Rev Recent Clin Trials. 2012 Nov;7(4):321-8.
- 2) Raponi G, et al. The role of free radicals and plasmatic antioxidant in Ménière's syndrome. Int Tinnitus J 2003; 9(2): 104-8.

オゾン療法
認定医
のご案内



6月26日(日)
12月18日(日)

点滴療法研究会マスタースクラブ 会員限定

オンライン
受講・受験

オゾン療法
認定医講習会・認定医試験



鎌倉元氣クリニック 院長
松村 浩道 先生



点滴療法研究会 会長
黒木 健二 先生

点滴・栄養療法 症例報告

COVID19肺炎（中等症2）に対し イベルメクチンとメチルプレドニゾロンが 著効した一例

COVID19 に対するイベルメクチンの使用は FLCCC や BIRD を始めとする医師らのグループから世界中に啓蒙、情報発信されており、49,000 人以上を対象とした 70 件の臨床試験のメタ解析からも以下のような結果が出ている。（2021 年 12 月 11 日現在）

- 16 件の予防試験において 83%の予防効果
- 29 件の初期症状治療試験において 66%の改善効果
- 25 件の重症治療試験において 37%の改善効果
- 31 件の臨床試験において 55%の死亡率低下

今回、中等症 2 の COVID19 肺炎に対しイベルメクチンとメチルプレドニゾロンが著効した一例を経験したため報告する。

症例 55歳 男性

主訴：
コロナ感染症の予防

現病歴：

8 月 X 日コロナ感染症の濃厚接触者となり、PCR 検査で陰性を確認、X+2 日にコロナ感染症の発症予防目的で当院へ高濃度ビタミン C 点滴を希望され来院し、12.5gIVC を施行、15,000 単位ビタミン D3 を開始。X+6 日に 38.8 度の発熱、翌日解熱するも、X+8 日に再び 38 度台の発熱を認め、同日から連日 X+10 日まで 25gIVC 施行した。X+8 日よりイベルメクチン 0.15mg/kg/ 日、メラトニン 10mg を開始。軽度の呼吸苦はあったものの、SpO2 は 96%、翌日 X+9 日には 98% と保たれていた。X+10 日、酸素飽和度が 89% まで低下したこと、2 回目の PCR 検査でコロナ感染症陽性となった等の連絡を受けたが、保健所から入院まで時間がかかる旨を伝えられたため、急遽本人が自主隔離していた事務所へ酸素ボンベを持参して向かい、酸素 5L で SpO2 97% まで上昇を確認した。その際 10gIVC 施行、イベルメクチンは 0.6mg/kg まで増量して服用することを勧め、その後緊急入院となった。

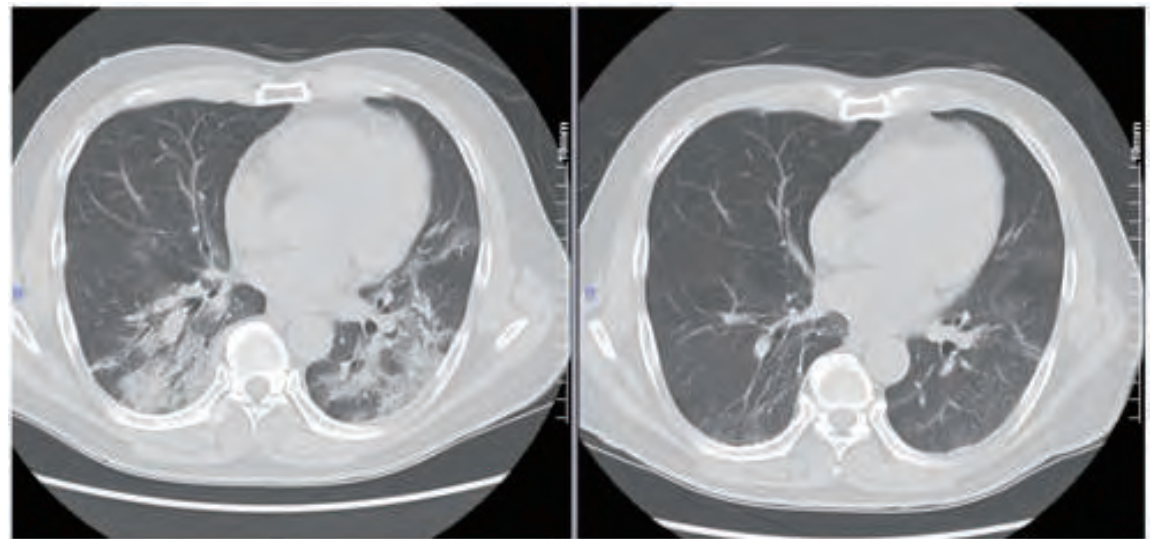


BFL クリニック

増田 陽子 先生

【略歴】

2012年浜松医科大学医学部医学科卒業。沖縄県立南部医療センター・こども医療センターで初期研修、京都府立医科大学放射線科、美容クリニックでの勤務を経て点滴療法研究会のセミナーで高濃度ビタミンC点滴と出会い、アメリカオルダングクリニック リサーチフェローとして留学。米国先端医療学会 (ACAM) キレーション専門医、米国抗加齢医学会 (A4M) の専門医 (ABAARM)、フェロー (FAAMFM) 取得



入院時

退院時

入院後経過：

入院時の CT で両側のすりガラス影とコンソリデーションが認められた。デキサメサゾン、レムデシビル、バリシチニブで治療を開始するも解熱が得られず、入院後 2 日にリザーバマスク 10L+ まで増悪、入院後服用していなかったイベルメクチンを自己判断で開始、同日メチルプレドニゾロンのパルス療法も開始された。その後急速に状態は改善し、入院後 4 日で酸素オフ、主治医より退院できる状態であると伝えられたが、週末であったため入院後 7 日で退院となった。退院時 CT では、すりガラス陰影は残るものの含気を伴う浸潤影は消失していた。

考察：

重症化因子は、高血圧と、糖尿病の疑い (HbA1c 6.9) があり、入院時の検査で、回復には 1 ヶ月以上かかると主治医に判断され、一時は気管挿管も検討されたものの、イベルメクチンとメチルプレドニゾロンが開始されたのち、急速に状態は安定した。患者は病態が急速に進行するデルタ株に感染していたものと考えられ、入院前に服用してい

たイベルメクチンの量が少なかったことから、初期から入院後のような十分な量を服用していれば、80% 以上の確率で状態が悪化することを予防できていた可能性もある。なおメチルプレドニゾロンはその強力な抗炎症作用から、ますます多くの研究が COVID19 感染症に対し、より強い有効性を示している。

今回はメチルプレドニゾロンとアスコルビン酸を同日に投与することはできなかったが、この組み合わせを病気の初期に投与していた場合、相乗的な生理学的効果から ARDS の改善効果がランダム比較試験でも示されている。これらの薬剤はいずれも安全性が高く、安価でもあるため、患者が最大の効果を得るためには、入院直後から今回のようなメチルプレドニゾロン、十分量のイベルメクチン、またアスコルビン酸、チアミンなどが投与されるべきである。

他にも様々な症例を
マスターズクラブ会員サイトに
掲載しております。

日々の診療に
お役立てください。



症例募集

点滴/栄養療法に関する症例を
随時募集しております。

詳細は事務局にお問い合わせください。



info@iv-therapy.jp



03-6277-3318



ビタミンCはリポソームで。

吸収率にこだわった国内製造のビタミンCサプリメント。

Lypo-Cは、ビタミンCを“リポソーム化”することで、体内利用効率を高めることを目指して開発しました。

1. 液体リポソーム

ほぼ100nm均一で超微細なリポソームなので、サッと水に拡散し、良い状態を維持しながら速やかに吸収される性質です。



2. スコットランド産ビタミンC

世界的基準において高品質で安全性の高いビタミンCだと定評のあるスコットランド産のビタミンC「Quali®-C」を使用。



3. GMP 認定工場にて製造

リポソームの安定性の観点から、GMP(Good Manufacturing Practiceの略で「適正製造規範」のこと)認定工場にて製造をしています。



Lypo-C (リポ・カプセル ビタミンC)

名称: ビタミンC含有食品(ビタミンC 1000mg / 1包あたり)
原材料名: ビタミンC、レシチン(大豆由来)、アルコール、クエン酸ナトリウム、クエン酸
内容量: 185.28g (6.176g × 30包) 希望小売価格: 30包入 1箱 ¥7,776

クリニックでのお取扱いをご検討の方はこちらから資料・サンプルの請求が可能です。既にお取扱いの事業所様からのサンプル請求も承ります。ご要望等ございましたらお気軽にお申し付けください。



株式会社スピック
〒248-0006 神奈川県鎌倉市小町2-12-30 BMビル4F
MAIL: business@spic.org / TEL: 0120-663-337



特別
コラム

ビタミン・ミネラル点滴の定番『マイヤーズ・カクテル』

点滴療法研究会 会長 柳澤 厚生 先生

マイヤーズ・カクテル(Myers' Cocktail)という名前で知られるビタミン&ミネラル点滴があります。欧米の統合医療クリニックでは定番の治療で、慢性疲労、喘息、偏頭痛など様々な疾患に効果があります。マイヤーズ・カクテルの由来はアメリカのジョン・ホプキンス大学医学部で教鞭をとっていたジョン・マイヤーズ(John A. Myers)医師に由来します。彼は人体における微量ミネラルの代謝について研究をしている傍ら、ボルチモア市で家庭医としてクリニックを開業、患者にビタミンとミネラルの点滴をしていました。この点滴が評判になり、多くの患者が通院していました。ところが1984年にマイヤーズ医師が亡くなり、クリニックは閉鎖、残された患者は途方に暮れていました。

マイヤーズ医師の患者の一人がペンシルバニア州のアラン・ゲイビー(Allan R. Gaby)医師のクリニックを訪れました。ゲイビー医師はBaster大学教授で米国ホリスティック医学会の会長を務めていました。彼はマイヤーズ医師の点滴に興味を覚え、マイヤーズ医師のクリニックスタッフや患者から情報を得、さらに現代の科学的エビデンスに基づいて点滴処方を再現しました。

2002年、ゲイビー医師は再現した点滴処方を医学誌に発表、この点滴をマイヤーズ博士の功績を讃えて「マイヤーズ・カクテル」と名付けました〔1〕。ゲイビー医師は様々な学会や講演会でこれを紹介、今では世界中で「マイヤーズ・カクテル」が知られるようになりました。日本では2007年に点滴療法研究会が紹介しました。マイヤーズカクテルは生理食塩水にビタミンC、複合ビタミンB製剤、硫酸マグネシウム、グルコン酸カルシウムなどを組み合わせて再現できます。

マイヤーズ・カクテルはさまざまな疾患に有用です(表)。そして、全て科学的にあるいは臨床的な裏付けがなされています。例えば、線維筋痛症については米国立補完代替療法センターが臨床試験を行い、有用であると発表しています。気管支喘息への有用性は米国栄養学会誌に公表されています。

私自身の経験でも、偏頭痛、喘息、耳鳴り、慢性疲労などに効果的で、非常に使い回しの良い治療です。なによりも点

滴に用いる薬がビタミン

とミネラルだけですので、副作用の心配はまずありません。

私の15年間の経験でも問題となる副作用は殆どありませんでした。



ゲイビー先生と柳澤会長夫妻

<表> マイヤーズ・カクテルの適応症

偏頭痛発作	全身倦怠・慢性疲労
慢性疲労症候群	線維筋痛症
アレルギー性鼻炎	気管支喘息
急性上気道炎	慢性副鼻腔炎
心不全	狭心症
慢性蕁麻疹	こむら返り・生理不順
甲状腺機能亢進症	歯周病

マイヤーズ・カクテルは内科や外科だけでなく、精神科、皮膚科など非常に応用範囲が広く、獣医師の会員はペットにも点滴をしています。昨年は私とアメリカのアンドリュー・ソウル先生と共同でTownsend Letter誌に新型コロナウイルス感染の治療にビタミンCを12.5g~25gに増量したマイヤーズカクテルを提唱しました〔2〕。この点滴はまさに保険制度という枠を超えたリベラルメディスンです。

Check

マイヤーズカクテルを学びたい方にオススメ動画サイト「マイヤーズ・カクテル応用編1・2」



出典 〔1〕 Gaby AR: Intravenous nutrient therapy: The Myers' Cocktail. Alternative Medical Review 2002;7(5):389-403
〔2〕 Saul A and Yanagisawa A: Hospital-based intravenous vitamin C treatment for coronavirus and related illnesses. Townsend Letter 2020;442(5).

抗酸化酵素を誘導！ 飲む紫外線ケア、美白、肝斑、白斑

医療機関専用サプリメント

広告

国内・海外医療機関での実績多数！海外セレブも愛用する“メロングリソディン”
細胞に備わる抗酸化力を高める美と健康のためのサプリメント！！

メロングリソディン…それは南フランス産の腐らないメロンから生まれた究極の抗酸化成分！

1st day



12th day



腐らないメロン

通常のメロン

★抗酸化酵素を誘導！

細胞と遺伝子を守る抗酸化酵素(SOD,GPx)誘導
効果が臨床試験で確認されています。

★100万倍の抗酸化力！

一般的な抗酸化物質(ビタミン、ポリフェノールなど)と比較して
100万倍もの抗酸化力を発揮するとも言われています。

★世界中の医療機関で多数の実績

世界35か国、10,000人以上の医師、
約10,000施設の医療機関で使われています。

★ハリウッド女優も愛用



★国内外の医師が効果を絶賛！



Dr. Doris Day 皮膚科医 アメリカ

“肌の弾力、水分量、明るさ、色素沈着の改善を1～3か月で実感できます。
院内での施術の効果を高め、その効果をより長く持続させる働きも期待できます。”

国内でも“アレルギー症状の改善”、“疲労感の軽減”など数多くの体感例があります。

飲む紫外線ケア

美白

肝斑

白斑

免疫賦活

抗アレルギー

不妊



Melon GliSODin® PRO
メロングリソディンプロ

- 内 容 量：3粒/日×30日分(90粒)
- お召し上がり方：1日3粒を目安に、水又はぬるま湯と共に召し上がってください。
- 主要配合成分：メロングリソディン(メロン抽出物)、亜鉛、セレン

2号ハードカプセル
6.4 × 18.0mm



サンプル、資料請求、説明会希望など、お気軽にお問い合わせください。

TEL:03-3538-5811

担当：高橋、松倉

FAX：03-3538-5812

E-mail: info-mc@n-act.co.jp

株式会社 ニュートリション・アクト

〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目13番15号
ダイワロイヤル銀座ビル オフィスフロア3階

お子様や男性にも
おすすめです！

独自開発でしっかり実感！

毎日が楽になる 塗るマグネシウムケア

100%天然成分&日本人の為の処方

“仕方がない…”

と諦めていたその辛さに

欧米で話題
マグネシウム
ケア

肌に心地いい
14の無添加設計

難しかった
塩化マグネシウム
10%を実現



日本オーソモレキュラー医学会推奨製品
マグバーム



お取扱クリニック募集

マグバーム1箱プレゼント中。お気軽にご連絡ください。

0800-222-0986 (通話無料・平日9-19時)



オーガニックサイエンス株式会社



臨床CBDオイル研究会
日本オーソモレキュラー医学会
W 認定講座



CBD ドクター講座 BASIC



CBD オイルの歴史、薬効、
実例、使い方まで…90項目以上の
動画からなるオンライン講座



臨床CBDオイル研究会

Japanese College of CBD Medicine (JCCM)



- ・実践的な講座
- ・ONLINE 症例検討会
- ・医療用ブロードスペクトラム CBD オイル
などで臨床家の CBD オイル活用をサポート





点滴療法研究会が提供する

導入から定着まで

トータルサポートのご案内

点滴療法の基本を学ぶ

基本となる点滴療法のプロトコルや導入ノウハウなど、明日から導入できる実践的な内容を学ぶセミナーをご用意しています。

点滴手技を学ぶ

「ハンズオンセミナー」や、コメディカルスタッフにもおすすめのオンライン学習動画、点滴手技マニュアルをご用意しています。

最新の点滴療法や自由診療のノウハウを学ぶ

年間10回以上のセミナーやオンライン学習動画、専門家によるコラム配信など、様々な学びの機会をご提供。海外の最新情報も！

自院の認知を広げる

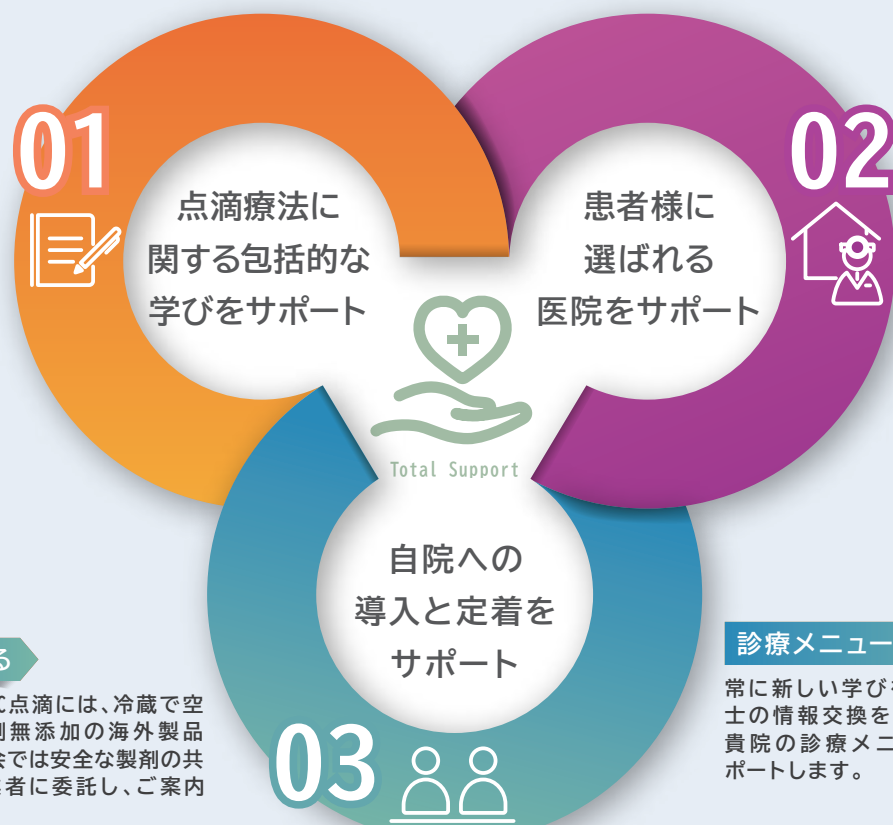
会員クリニックの検索サイト（年間検索数30,000回以上）で、点滴療法を受けたい患者様と医院のマッチングを支援。様々な集患サポートも！

点滴療法を選ばれるメニューにする

院内掲示や患者様への説明に使えるリーフレットや院内動画など、販促ツールを提供。また、メディアやウェブでのPR活動を通し、点滴療法および会員クリニックの認知拡大を行います。

認定医として信頼度を上げる

真摯に点滴療法を学び、正しい方法で治療を提供できる会員医師を明確にし、患者様からの信頼度を向上させるために認定医制度を設けています。



製剤を揃える

高濃度ビタミンC点滴には、冷蔵で空輸された防腐剤無添加の海外製品が必要です。当会では安全な製剤の共同輸入を専門業者に委託し、ご案内しています。

疑問点を解消し、安全に提供する

当会会員は、医学的な疑問点をいつでも質問することが可能です。当会会長もしくはボードメンバーが回答するので、安心して点滴療法を提供していただけます。

診療メニューを拡充する

常に新しい学びを提供し、会員同士の情報交換を推進することで、貴院の診療メニューの拡充をサポートします。

スタッフの理解を深め、院内体制を整える

コメディカルスタッフ向けの教材や、院長と共に学べる機会を提供することで、スタッフの点滴療法への理解や知識を高めます。



点滴療法研究会

高濃度ビタミンC点滴療法 認定医制度



認定医制度とは

点滴療法研究会では、国民に安心して高濃度ビタミンC点滴を受けていただくため、正しい知識を持った会員医師に認定医資格を設けています。現在、約500名の方が認定医資格を取得しております。
(2022年1月現在)



認定証を発行。
安心して患者様に
選ばれる医院に



当会が質を保証する認定証を発行。自院等でもご紹介いただけます。
※額縁は別売です。

クリニック検索で
上位表示されるから
集患効果アップ

当会のホームページにおけるクリニック検索でご紹介。検索時に優先的に表示されます。

受験案内（年1回開催）

2022年 **12月4日(日)**

■会場：東京

会員サイトの
認定医ページはこちら▶



資格

- マスターズクラブ会員であること
- ベーシックセミナーⅠの受講
- ベーシックセミナーⅡの受講
- 高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会の受講

※注意 マスターズクラブを退会すると認定医資格はなくなります。

他にも2種類の認定医制度をご用意しています。

キレーション療法 認定医

5月22日(日)、**11月13日(日)**

オゾン療法 認定医

6月26日(日)、**12月18日(日)**

会員サービスのご案内

会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。
ぜひ、ご活用ください。

認定医制度

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

学習サポート

- ・症例・論文 **PICK UP!**
- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習 **PICK UP!**
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オーソモレキュラー医学会
日本オーソモレキュラー医学会
国際個別化医療学会

クリニック運営サポート

- ・クリニック検索一覧掲載
- ・クリニック詳細ページ
作成サービス **PICK UP!**
- ・集患サポートパック **PICK UP!**
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ **PICK UP!**
- ・書籍掲誌
- ・会員証発行

クリニック 詳細 ページ

点滴療法研究会ウェブサイト
クリニック詳細ページ
制作申込受付中!

クリニックの認知を高めよう!

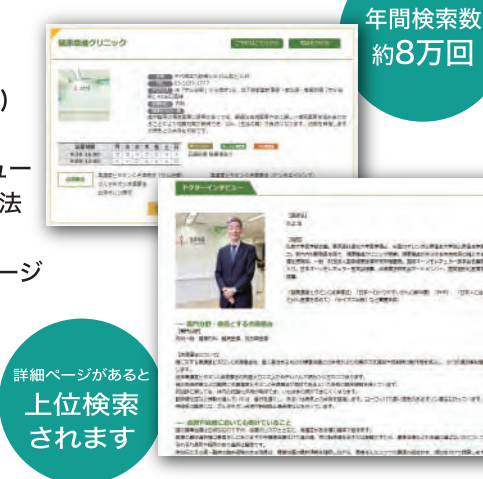
昨年より始まった「クリニック詳細ページ」作成サービス。
すでに多くの会員様にご活用いただいております。
検索上位表示も可能です。ぜひご活用ください。
当会Facebookにも掲載いたします。

掲載内容

- 院内写真(1~5枚)
- 医院の特徴
- ドクターインタビュー
- 得意とする点滴療法
- 治療へのこだわり
- 患者様へのメッセージ
- 診療時間案内
- アクセス情報

制作・掲載費

45,000円(税込)



年間検索数
約8万回

詳細ページがあると
上位検索
されます

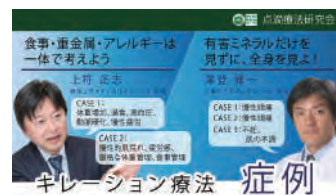
ホームページをもっとよくしたい先生向けに

集患サポートパックも
ご用意しています。

点滴療法導入クリニックの集患
に必要な要素をオールインワン
にしたパックです。詳しくは同梱
資料をご覧ください。

学習サポート

動画学習



学習サポート

症例・論文

会員サイトでは点滴治療に関する症
例やエビデンスを紹介しております。

閲覧には、
ログインが
必要です。



メールマガジンに
ご登録ください!

医学情報、柳澤会長からの動画をはじめ、
各種キャンペーンやお得な情報をお送りし
ております。お見逃しなく!
メールマガジンのご登録は無料です。

ログイン後
マイページより
ご登録ください!



オンライン ショップ

点滴療法研究会 マスターズクラブ 会員限定
院内販促サポート、拡充中!

患者様に点滴療法を知ってもらおう!

院内販促にお役立ていただけるサポートを充実いたしました。
貴院での取り扱いに合わせて、ぜひご活用ください。

デジタルサイネージ 販売開始!

院内モニター用の販促動画をご用意いたしました。
貴院での導入状況に合わせて
各種点滴療法の紹介を組み合わせアレンジできます。

必須 A	点滴療法とは? 〔2分30秒〕	● 点滴療法の概要とメリット ● 適用疾患 ● 使用する栄養素の効果	販売中!
+ 選択式 B 1~3	各種点滴療法の メリットや歴史 〔各約2分〕	B1:高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療版) B2:高濃度ビタミンC点滴療法(アンチエイジング版) B3:マイヤーズ・カクテル版	2月リリース予定!
+ 選択式 オプション	活用しやすいような オプションをご用意	● 名入れ・ロゴ追加 ● デジタルフォトフレーム	2月リリース予定!

動画サンプルは
こちらから
ご覧ください

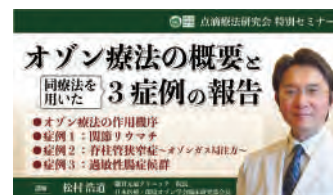


今後も院内販促をはじめ、会員クリニックの発展に
お役立ていただけるサービスを展開してまいります。

オンラインショップはこちら▶



動画一覧は
こちら



「症例から学ぶ」 掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法 高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例」 健康増進クリニック 院長 水上 治 先生
- 「オゾン療法 線維筋痛症、気分障害、不安障害」 鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

「論文から学ぶ」 掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法に関連する代表的な基礎研究」
Ascorbate regulates haematopoietic stem cell function and leukaemogenesis Nature (2017) doi:10.1038/nature23876
- 「グルタチオン点滴療法に関連する論文」 Anti-cancer effect of pharmacologic ascorbate and its interaction with supplementary parenteral glutathione in preclinical cancer models. Free Radic Biol Med. 2011 Aug 1;51(3):681-7

最新海外医学情報 Pick up News

ビタミンD: 若年性大腸癌を予防し、乳癌患者の予後を改善

(2021年6月、8月)

ビタミンDと癌の関係性に関しては今までも様々な研究が行われてきましたが、2021年にはサンプル数の多い研究での前向きな結果が、相次いで発表されました。ハーバード大学などによる25-42歳の女性94,205人を対象とした前向きコホート研究では、ビタミンDの摂取が若年性大腸癌や前癌性大腸ポリープの発症を予防する可能性が報告されました。ビタミンDの総摂取量と、若年性大腸癌および大腸ポリープの発症数を観測したところ、D摂取量が多いほど発症数が有意に少ないことが分かりました。



また、2021年6月の米国臨床腫瘍学会で発表された研究では、約4,000人の女性を調査したところ、乳癌診断時に血中D濃度が十分に高い場合、乳癌の転帰が良い傾向があると発表されました。著名な研究所や学会でこのような研究結果が発表されることで、癌予防・治療におけるビタミンDの役割は、今後さらに注目されていくでしょう。

H Kim, M Lipsyc-Sharf, X Zong, *et al.* Total Vitamin D Intake and Risks of Early-Onset Colorectal Cancer and Precursors. *Gastroenterology*, 2021
S Yao, H Sheng, M Kwan, *et al.* Clinically sufficient vitamin D levels at breast cancer diagnosis and survival outcomes in a prospective cohort of 3,995 patients after a median follow-up of 10 years. *J Clin Oncol* 39, 2021; suppl 15; abstr 10510

ビタミンB12とアルツハイマー病との関連性を示唆する線虫の働き

(2021年9月)

線虫がアルツハイマー型認知症を患うと、うねうねとした動きをしなくなります。しかし、ビタミンB12を多く含む餌を与えた線虫は、アルツハイマーを発症しにくくなると、デラウェア大学の研究で報告されました。認知症に関与する毒性タンパク質アミロイドβを発現させると、成虫になって36時間以内に線虫は麻痺し、動かなくなります。しかしB12を含む餌を与えた場合、麻痺発生の速度が明らかに遅くなり、エネルギーレベルが高くなり、細胞内の酸化ストレスが少なくなりました。B12を添加して効果があったのは、線虫がB12を欠乏している場合のみで、健康な線虫では効果は見られませんでした。このことから、ビタミンB12の欠乏がアルツハイマーの発症を誘因する可能性、そしてB12の摂取が発症予防に繋がる可能性を示唆しています。



A Lam, K Kervin, J Tanis. Vitamin B12 impacts amyloid beta-induced proteotoxicity by regulating the methionine/S-adenosylmethionine cycle. *Cell Reports*, 2021

ビタミンCが体外受精の成功率を上げる

(2021年11月)

生殖医療において、受精後のDNA脱メチル化は正常な胚発生に不可欠ですが、体外受精(IVF)ではこのプロセスに異常が起こりやすく、合併症に繋がることが分かっています。DNA脱メチル化には、TET酵素の活性が不可欠であり、TETが欠損すると胚の生存と成長が損なわれます。

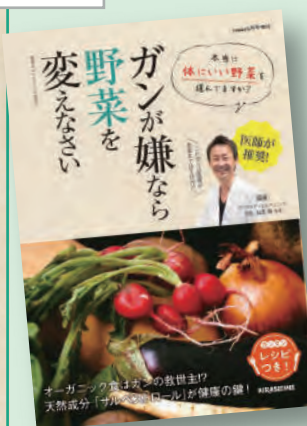
そこで、TET酵素の活性を高める補助因子であるビタミンCをマウスおよび牛のIVF胚の培養液に100 μg/ml添加したところ、対照胚と比較してTET酵素活性が改善し、胚盤胞到達率・胚盤胞の総細胞数・内部細胞塊(ICM)細胞数が有意に増加し、着床率および着床直後の生存率が有意に高くなりました。人体では子宮や卵管に多くのビタミンCが存在することから、IVFにおけるTET酵素活性低下およびDNA脱メチル化の阻害は、母体に存在するはずのCの欠乏が主な原因であると考えられます。

今後は人間の生殖医療への応用が期待されますが、同時に、妊娠を希望する女性におけるビタミンCの重要性も示唆しています。

M Chu, F Yao, G Xi, *et al.* Vitamin C Rescues in vitro Embryonic Development by Correcting Impaired Active DNA Demethylation. *Front. Cell Dev. Biol.*, 2021



広告



ガンが嫌なら
野菜を変えなさい

サルベストロール研究会 著
キラジェンヌ株式会社 発行
アクアメディカルクリニック
院長・石黒 伸 監修

800円(税別)



Amazonから購入

全国の書店、ネットショップにて発売中。

WEBサイトではサルベストロールについてさらに詳しくご紹介しています。



サルベストロール研究会
salvestrol labo

<https://salvestrol-labo.com>



オーガニック野菜に含まれる
サルベストロールとは?

発見からわずか17年で、
がん治療に導入
サルベストロールはオーガニック農産物に多く含まれる天然成分で、カビや菌から植物を守る働きがあります。2002年に発見されて以来、僅か17年の間に欧米諸国でがん治療に導入され、医療界で大きな注目を浴びているサルベストロール。
オーガニック農産物に含まれるサルベストロールの量は、農薬栽培の食物に比べ約3〜30倍といわれています。

本書ではサルベストロールがオーガニック農作物に多い理由、がん細胞を死滅させる脅威のメカニズム、上手に摂取する食事のコツ、働きを邪魔する成分まで、その力を最大限に引き出す知恵が、ふんだんに盛り込まれています。読了後、このタイトルに大きく納得することは間違いありません。

オーガニック野菜の真の力は
がん細胞消滅にあつた

農薬を使用していなかった時代は、がん患者が少なかった!?

Organic

広告



医療従事者のための医師が選んだ「食」が学べる宅配便

JMOA 一般社団法人
日本メディカルオーガニック協会
Japan Medical Organic Association

Doctor's Organic Box

石黒医師監修のもと、
毎月のテーマに沿った【食と健康の情報誌】と、
厳選したオーガニック&ナチュラルな【食品セット】をお届けします。

月1回
お届け

食と健康の情報誌

オーソモレキュラー医学を学ぶ医師なら知っておきたい食の知見を月1回お届けします。

- 知っておきたい食材の健康メリット/デメリット
- 医学的根拠に基づいた世界のオーガニック情報
- 論文情報
- 目的・テーマ別のおすすめ食材/簡単レシピ

月2回
お届け

食品セット

1回分送分を約2〜3人分をお届け!

【1回分の例】

- 月のテーマ食材 1〜2点 (パセリ、ブロッコリー)
- 野菜 5〜6種類 (小松菜、ケール、さつまいも、人参2〜3本、まいたけ)
- 果物 2〜3種類 (りんご、オレンジ)
- 定番商品 3種類 (納豆×1、ヨーグルト×2、有機ニンジンジュース×3本)
- 手軽に食べれるナッツ、スナック 1〜2種類 (くるみ、海苔チップス)

資料請求で
「腸内環境改善サポート」冊子の
サンプル無料プレゼント中!



資料請求は
こちら➡



【監修医師】
アクアメディカルクリニック
院長 石黒 伸 先生



2022年 点滴療法研究会

認定医試験

5/22

日

WEB開催

キレーション療法 認定医 講習会/試験

キレーション療法は心臓病や動脈硬化の治療、環境汚染や食品添加物に対するデトックス治療として注目されている点滴療法です。本講習の受講及び教材（動画付）にて学習することにより認定医試験の受験資格が得られます。

【講師】

上符 正志 先生（銀座上符メディカルクリニック 院長）
澤登 雅一 先生（三番町さげんクリニック 院長）

6/26

日

WEB開催

オゾン療法認定医 講習会/試験

オゾン療法は採血した血液と医療用オゾンガスを混合し、再び点滴で体内に戻す点滴療法です。アンチエイジングや免疫力アップなど、様々な目的で用いられています。本講座を受講し、認定医試験に合格後、症例を提出することにより認定医取得が可能となります。

【講師】

松村 浩道 先生（鎌倉元氣クリニック 院長）
柳澤 厚生 先生（点滴療法研究会マスターズクラブ 会長）

12/4

日

会場（東京）

高濃度ビタミンC 点滴療法認定医 講習会/試験

点滴療法研究会では、真摯に高濃度ビタミンC点滴療法を学び、正しい方法で患者様に提供するために、高濃度ビタミンC点滴療法認定医 (Master of IVC Therapy) 制度を設け、マスターズクラブ会員医師の質の保証をしています。本講習会ではビタミンCの基礎知識、リオルダンIVCプロトコル、他の併用療法など大切な基本・応用を学びます。

【講師】

石神 昭人 先生（東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長）
澤登 雅一 先生（三番町さげんクリニック 院長）
柳澤 厚生 先生（点滴療法研究会マスターズクラブ 会長）
増田 陽子 先生（BFLクリニック）

実践セミナー年間予定

各種実践セミナー

ベーシックセミナーⅠ

点滴の基本「高濃度ビタミンC」「グルタチオン」「マイヤーズカクテル」などの点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズクラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&Aサポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

2/6

東京会場

【講師】

柳澤 厚生 先生（点滴療法研究会マスターズクラブ 会長）
熊谷 和浩 先生（フジテレビ湾岸スタジオビル診療所 院長）

4/10

福岡会場

【講師】

柳澤 厚生 先生（点滴療法研究会マスターズクラブ 会長）
喜多村 邦弘 先生（喜多村クリニック 院長）

7/10

東京会場

【講師】

柳澤 厚生 先生（点滴療法研究会マスターズクラブ 会長）
松村 浩道 先生（鎌倉元氣クリニック 院長）
他 特別講師

10/22

東京会場

【講師】

柳澤 厚生 先生（点滴療法研究会マスターズクラブ 会長）
松村 浩道 先生（鎌倉元氣クリニック 院長）

ベーシックセミナーⅡ

ベーシックセミナーⅠを学ばれた先生に是非、受講していただきたいセミナーです。キレーション、遅延型フードアレールギー、栄養療法、プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸他、最新の点滴療法と関連する栄養療法を実践的に学びます。

【講師】

上符 正志 先生（銀座上符メディカルクリニック 院長）
増田 陽子 先生（BFLクリニック）

4/24

東京会場

10/23

東京会場

点滴療法研究会15周年記念 特別セミナー

3/6

東京会場

アンチエイジング最前線 「NMN・幹細胞培養上清療法」の今

今年注目の「NMN・幹細胞培養上清療法」の入門・症例・活用方法まで、最前線で実践している講師の方々にご講演いただきます。

【講師】

平松 隆司 先生（ミライラボバイオサイエンス株式会社 外部取締役）
宇野 克明 先生（医療法人社団東京MIT 理事長）
野村 紘史 先生（N2クリニック ホテル椿山荘東京院 院長）
青木 竜弥 先生（銀座予防医療クリニック 院長）
吉見 洋志 先生（医療法人社団隆聖会 理事長）
林田 学 先生（株式会社事業法ドットコム 社主・M&M法律事務所 最高顧問・医療グループJTA 理事長）

点滴療法の基本実技 講習会（入門編）

「もうはずさない!血管確保の実際」

鎌倉元氣クリニックにて、高濃度ビタミンC点滴25gの標準準備・セッティング・穿刺・抜針までの基本手技について学ぶハンズオン講習会です。

【講師】

柳澤 厚生 先生（点滴療法研究会マスターズクラブ 会長）
山口 かおる 師長（鎌倉元氣クリニック 看護師長）

3/13 日・8/28 日・12/18 日

神奈川県鎌倉市

地域フォーラム

マスターズクラブ会員による臨床現場での症例や治療法などを発表。

4/10 日 PM 九州フォーラム（福岡）

7/31 日 関西フォーラム（大阪）

9/18-19

日・祝

東京会場

国際栄養医学シンポジウム2022

～NEW AGE MEDICINE:新時代栄養医療が創る健康な未来～

点滴療法研究会15周年を記念し、2日間にわたり点滴療法を含む栄養療法に関する幅広いテーマで学べるシンポジウムを開催。国内・海外から最新の情報をお届けします。

点滴療法研究会15周年/日本オゾンモレキュラー医学会第4回総会合同開催

【会頭】柳澤 厚生 先生（点滴療法研究会マスターズクラブ 会長）

【名誉会頭】矢澤 一良 先生（早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門 部門長）

【会頭】井手口 直子 先生（帝京平成大学 薬学部 教授）

【講師】

詳細は決まり次第、WEBサイトに掲載させていただきます。

歯科医師のための 点滴療法（ベーシック）

歯科治療における点滴療法の必要性和可能性、明日から使えるノウハウを具体的に解説し、現場への落とし込み「導入」と「定着」を目的とします。

【講師】

新福 泰弘 先生（インペリオクリニック 理事長）
柳澤 厚生 先生（点滴療法研究会マスターズクラブ 会長）

6/12 日 東京会場

11/6 日 東京会場

どうぶつへの点滴療法・ 栄養療法を臨床から学ぶ

【講師】

廣田 順子 先生（アリスどうぶつクリニック 院長）

日程未定（WEB 開催予定）

点滴療法研究会 協賛企業のご紹介 (五十音順)

当会の活動にご賛同・協力いただいている
年間協賛企業（企業会員）の一覧です。



アークレイマーケティング株式会社

【血中ビタミンC相当値を簡単・迅速にチェック可能!】ポケットケムVCは自己血糖測定器と全く同じ手順で簡単に血中のビタミンC相当値を得ることが可能です。まずは、資料請求からお気軽にお問い合わせください。

TEL.050-5527-7700



株式会社アイダンプロダクツジャパン

米国リオルダンクリニックの研究室から生まれた革新的サプリメント。柳澤会長とリオルダン博士が設計監修された高濃度ビタミンC点滴のサポートサプリIVC-MAXなどを取扱っております。是非ご活用ください。

TEL.03-6811-1318



アウトバーン株式会社

HGHクリスタルMDを始めとしたHGHサプリメントシリーズ
日本初のアミノ酸によるHGHに着目したサプリメントであり、20年の歴史がある商品となっております。臨床試験を実施し安全性と有用性を確認

TEL.078-327-7553



アンブロシア株式会社

迅速・丁寧・安心をモットーに各種検査サービスをお届けします。(遅延型フードアレルギー／重金属(唾液・尿)／有機酸・環境汚染物質／副腎ストレス／SIBO(呼吸)／ビタミンD／男性・女性ホルモンなど)

TEL.044-299-7946



Wismettacフーズ株式会社 ナチュメディカ事業グループ

ナチュメディカのサプリメントは、栄養療法フォローを目的として、安全性・科学的根拠・機能性にこだわった設計です。柳澤先生ご監修の「点滴療法専用サプリメント」をはじめ、様々な局面でご活用いただけます。

TEL.03-6870-2006



株式会社ウェルハート

当社は薬監申請に基づき、海外の医薬品や医療機器の輸入に係る手続きの代行、調達、輸送時の商品管理等のサポートを行います。また、ドイツHumares社のオゾン機器、JBP社のヒトプラセンタ内服薬、の国内代理店業務を行っております。

TEL.03-5276-6071



株式会社MSS

医科向けシェアNo.1のMSSサプリメントは、「医師の使用に耐える性能と品質」をお約束します。さらに、「栄養療法のトータルサポート企業」として、「栄養医療とサプリメント販売のノウハウ」を、先生方にご提供いたします。

TEL.03-5366-0208



オーガニックサイエンス株式会社

日本初の塩化マグネシウムを高濃度に配合したマグネシウムクリーム。防腐剤、合成界面活性剤を使用せず100%天然由来成分でつくられ、マグネシウムが持つ特有の肌への刺激を抑え、敏感肌の人でも継続使用できる。

TEL.0800-222-0986



有限会社クレア・ラボ・ジャパン

Klaire Labs社は米国で50年間以上、医療機関へアレルギー・フリーのプロバイオティクス・サプリメントを提供し続けています。米国同様、日本でも15年にわたり医療機関へ提供させて頂いております。

TEL.045-534-9518



株式会社玄米酵素

㈱玄米酵素 1971年創業
「玄米酵素」玄米、胚芽表皮を麹菌で発酵した自然派サプリ／学術論文が30本以上／140以上の医療機関がご利用／ビタミン11種、ミネラル10種、食物繊維、抗酸化成分も豊富

TEL.011-736-2345



株式会社こころ

欧米で盛んに研究され、その驚くべき効果がつぎつぎと発表されている麻由来のポリフェノール、CBD。いま、健康をサポートする栄養補助食品として医師や科学者の間で注目を集めています。詳細はお問合せ下さい。

TEL.048-291-8802



株式会社サルベストロールジャパン

ニュージーランドのサルバケア社より認定を受け、日本におけるサルベストロールの販売提供を行っております。がん治療を目的とした医療機関向けサプリメントSalvestrol PLATINUM2000(点滴療法研究会推奨サプリメント)です。

TEL.03-6450-2406



自費研株式会社

自費診療領域にて、独自の切り口と質の高い情報量で自費診療と自費経営のコンテンツやメディア、セミナーやイベントを提供し、自費診療で医療経営を強くすることを目的とした会員型プラットフォームサービスです。

TEL.03-4540-6583



株式会社スピック

日本製の高品質ナリボソーム化されたビタミンCサプリメント。全国1,500以上の美容と健康のプロの事業所で導入されています。高濃度ビタミンC点滴を導入のクリニックでのお取扱いが中心です。

TEL.0467-23-8161



第一産業株式会社

九州大学・昭和大学歯学部・日本歯科大学との共同研究を基に、様々な口腔内病変の改善を目的とした、フコイダン・白なた豆エキスを含有した口腔内専用の製品
パワーフコイダン マウスジェル CG

TEL.06-6131-0370



共同購入VC受注代行センター (有限会社ディスインターナショナル)

厚生局の指導に従い、法令遵守して医師による個人輸入をサポートいたします。Mylan社製ビタミンC製剤・Woerwag社製αリポ酸の受注窓口として、受注業務を代行しております。ご不明な点があれば気軽にお問い合わせください。

TEL.03-6300-0152



株式会社デトックス

株)デトックスは2005年から医療関係者のために、一流レベルの機能性医療検査と高品質の治療製剤とサプリメントを提供しています。検査はがん、自閉症、精神疾患、認知症、免疫関連と幅広くカバーしております。

TEL.03-5876-4511



東栄新薬株式会社

露地栽培アガリクスKA21の製造販売会社。32本の国際論文に基づいた、免疫サプリ=癌患者様用、カンジダ(口腔内、腸、膈)対策、特許配合育毛サプリ、腸内環境改善サプリの無料サンプル申込は以下にお電話ください。

TEL.0422-26-7310



ニプトジャパン株式会社

新型出生前診断(NIPT)検査の提供
陽性者には無料で遺伝専門医によるカウンセリング実施
現在採血協力機関募集中 謝礼 25,000円/件

TEL.03-6262-7771



一般社団法人日本オソモレキュラー医学会

治療レベルの栄養療法オソモレキュラー医学について、2021/10/16〜17に開催された弊会第3回総会のオンデマンド視聴申込受付中です。配信は2021年11月1日〜2022年10月31日となります。ご不明な点はお問い合わせください。

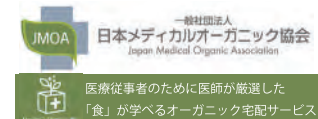
TEL.03-6821-1461



日本ダグラスラボラトリーズ株式会社

DOUGLAS LABORATORIESは医師の手から患者様へ医師が責任を持って処方する信頼のブランドです。
1本からの卸、小ロットOEM、オリジナル商品製造、分包装等、多彩なサービスを取り揃えています。

TEL.03-5530-2212



一般社団法人日本メディカルオーガニック協会

毎月テーマに沿った「食・栄養に関する医学情報誌」と厳選した「オーガニック食品セット」をお届け。医師監修の元、医学的根拠に基づいた食と健康に関する知識を身につけることと共に、オーガニックな食材を体感することができます。

TEL.03-6277-3011



株式会社ニュートリション・アクト

遺伝子レベルに着目した、医療機関専売サプリ【メロングリソディン プロ】細胞内の抗酸化酵素を誘導し活性化することで、本来の生命力を高め究極のアンチエイジングへ。その他DNA修復サプリ・ミトコンドリアサプリも。

TEL.03-3538-5811



株式会社ビーアンドエス・コーポレーション

約2,300の医療機関で導入される乳酸菌生成エキス『アルベックス』、認知症対策サプリ『プラスマローゲン』を扱っております。ご興味のある方は弊社公式ホームページ、又は下記TEL番号より資料請求くださいませ。

TEL.03-3288-0068



株式会社First Health Japan

最高水準の医療・技術を必要とする医師と世界の医療機関・情報を繋ぎサポートいたします。USBioTek社/NutriPATH日本総代理店、海外調剤薬局配合剤、G6PD迅速定量検査、ビタミンD迅速検査等詳細はお問い合わせください。

TEL.03-5799-7085



株式会社分子生理化学研究所

当社は2002年に設立した医療機関向けサプリメントメーカーです。医師が選ぶサプリNo.1を獲得し、全国約5,000の医療機関導入をした実績から、栄養療法を実践する皆さまのサポートをさせていただきます。

TEL.03-5286-7010



株式会社薬事法ドットコム

ドクターのためのオンラインサロン・メディカルビジネスサロン(月会費11,000円)では、医師・歯科医師の悩みを解決しながら、企業等とのマッチングを通して医師・歯科医師の個人年収1億円以上の達成を目指します。

TEL.03-6274-8781